

高付加価値精米でインドネシアの農業振興 タイワ精機の精米機技術で ASEAN 展開を目指す

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、株式会社タイワ精機(富山県富山市、高井 良一 代表取締役社長)が提案する「農家・農民グループ向け高性能小型籾摺精米機導入のための案件化調査」(インドネシア)を採択しました。

世界第3位のコメ生産国であるインドネシアは、農業振興を重視しているものの、精米機性能の低さ等から低歩留り・高碎米等を引き起こし、収穫後処理におけるロスが多く発生しており、市場ニーズを満たす国産米の高付加価値化に課題を抱えています。

同社は、精米機専門メーカーとしての実績と技術をもとに、長粒米用の小型精米機を開発。精米事業を行う現地の農家やコミュニティに対し、籾摺り・選別・精米機能を有し省スペース・省力化したオールインワン小型精米機を導入することで、精米レベルの向上を図り、コメの付加価値を上げることで農民の収入向上に繋げることを目指します。



ジャティルイ村棚田群
稲作(二期作)地帯



現地の精米所

設備が古く
碎米やロスが
多い



タイワ精機の精米技術

米の付加価値向上 +
農家の収入向上

本調査では、対象となるバリ島稲作地域における開発課題の分析や試験機を用いた適合性確認のほか、ODA 事業化検討、市場・競合調査等を通じたビジネスモデルの検討を行います。同社の取り組みにより、コメ産業バリューチェーンの構築に寄与するとともに、北陸とインドネシアの交流促進および経済活性化に繋がることが期待されます。

なお本調査は、我が国の中小企業を対象とした「案件化調査」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注)案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施しており、2017 年度は今年 3 月に第 1 回公示を行い、36 件を採択した。

参考：(プレスリリース)案件化調査 2017 年度第 1 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

★おかげさまで JICA 北陸設立 25 周年!★



JICA 北陸 担当：松柴 (まつしば)、小島 (こじま)
 TEL: 076-233-5931 FAX: 076-233-5959
 E-mail: Matsushiba.Yuka@jica.go.jp
<https://www.jica.go.jp/hokuriku/>